

各国際機関による交渉課題 ・ロビーイングの活用方法

2018年3月3日



一般社団法人情報通信技術委員会 (TTC)

前田 洋一

第3日：国際会議における交渉術 セミナー講師先生方と関連標準化機関

亀山 渉 氏 早稲田大学

ISO/IEC JTC1/SC29, TV-Anytime Forum, IPTV-GSI

山下 経 氏 株式会社日立製作所

DVD Forum, Blu-Ray Disc Association, ISO/IEC
JTC1/SC23, Ecma

上野 文雄 氏 株式会社東芝

IEC System Committee on Smart Cities

江崎 浩 氏 東京大学

IETF, ISOC (Internet Society), IEEE

内藤 悠史 氏 三菱電機株式会社

ITU-T SG15, ITU-T SG16

前田 洋一 (一社) 情報通信技術委員会

ITU-T SG15, ASTAP (Asia-Pacific Telecommunity)

目次

- ❑ 国際標準化の意義
- ❑ 標準化タイミングの変化
- ❑ 標準化会議の議事規則の理解
- ❑ 標準化組織間の連携：Fast Trackの活用例
- ❑ 国際会議における役職者の心構え
- ❑ 標準化活動ノウハウ：準備編
- ❑ 標準化活動ノウハウ：交渉編

- ❑ 参考付録：標準化テキスト
 - 付1 国際会議参加のための手続きと規則
 - 付2 国際会議のための英語表現

国際標準化の意義

● 標準化の意義

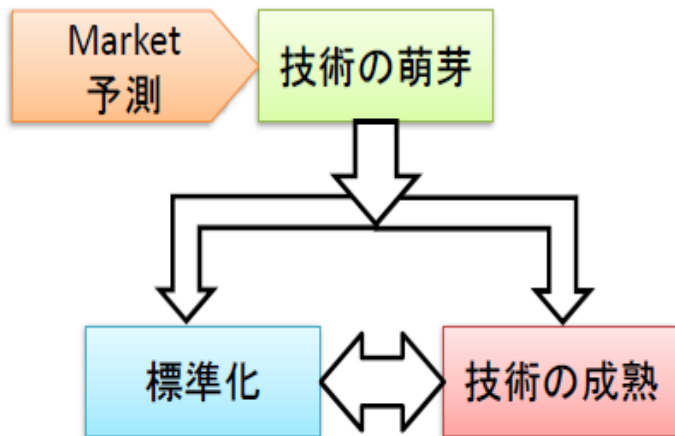
- WTO/TBT協定等に遵守した国際標準と貿易
- 相互運用性・相互接続性の確保
- 市場の拡大
- 低コスト化・調達の容易化
- 技術の普及
- 高品質と安全性の提供

- **標準化**は国際競争優位性を確保するための**ツール**であり、**ビジネス戦略**そのものである

事業戦略・研究開発戦略・知財戦略・標準化戦略
の一体化が重要

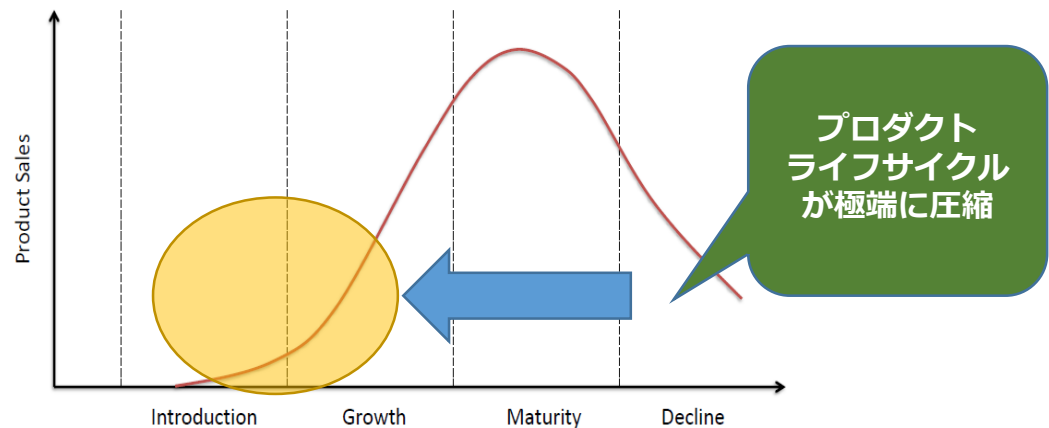
標準化タイミングの変化

- 昨今の成功している標準化は、技術の成熟を待たず、新たな市場の出現や新技術の萌芽を引き金として標準化活動を開始
- 相互接続性を実現するための必要最小限の仕様化
- 早期での市場予測の重要性
- 標準化が研究開発を先導
- 市場に期待される期日までに標準化完了



昨今の標準化方法

・ どのTimingで標準化するのか？



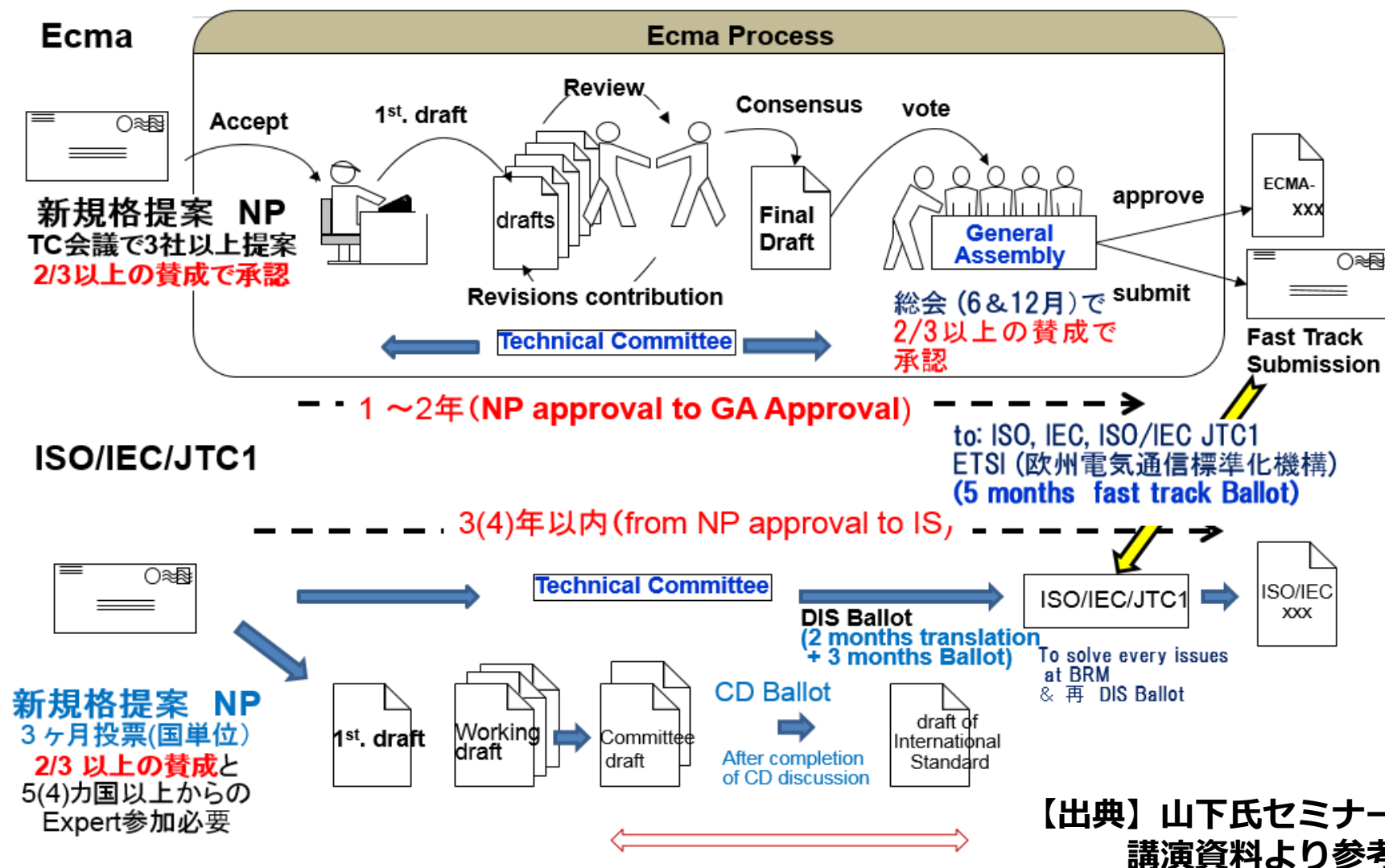
標準化会議の議事規則の理解

米国議会の運営手順を基に、Henry M. Robertが1876年策定した会合手続き集「**Robert's Rules of Order**」(<http://robertsrules.com/default.html>)に基づく

- 定足数 (Quorum) の出席がなければならない。
- 同時に検討できる正式な提案は一つのみである (一事一件) 。
- 多数決 (majority vote) により決定する。
- 一旦、会議が案件を決定すると、その案件を、同じ形で会議に再度取り上げることはできない (一事不再議) 。
- 全ての構成員は平等である。
- 構成員は会合開催に先立って動議 (motion) の形で課題を提起する。
- 一度に構成員一人のみが発言権 (floor) を持つ。
- 規則が討議を認めていない場合を除き、全ての案件 (question) は全面的に討議される。
- 検討する対象は、人ではなく、いかなるときも論点 (issue) である。
- 組織が個人に優先する。
- 棄権 (abstain) は採決に計数されない。

標準化組織間の連携：Fast Trackの活用例

【標準化プロセスの違い（例：Ecma と ISO/IEC JTC1）】



- IEEE 1888では、IEEEとISO/IEC/JTC1とのFast Trackを活用

国際会議における役職者の心構え

- 議長は誠実で、公平であるべきである。信頼獲得が重要。
- 議長は、議長としての立場を第一とする。議長が所属する企業・団体等や政府としての立場は、他の参加者が表明すべきもので、議長職を出す企業・団体等や政府は、議長が公平であるべきことを認識しておかなければならない。
- 「コミュニケーションをとる」とは、まずは聞くことであり、対立する双方の立場の代表者の意見を聞き、多くの関係者から助言を得る。
- 関連する会合には可能な限り参加し、より多い判断材料の収集に努める。
- 議長として、会合開催の前や、期間中に、議論に積極的に巻き込まれる必要がある。異なる観点からの強み・立場をしっかりと理解し、潜在的な反対は事前に把握し、合意に向けた良好な関係構築に努める。
- コミュニケーションでは文化の違いを知ることが大切である。何気ないと思われる事柄を深刻に受け取ってしまう文化圏もあり、いつも礼儀正しくしておくべきである。

例：ITU-T新会期の SG議長・副議長指名

SG等	活動内容	役職	氏名（所属）	備考
TSAG	ITU-Tにおける標準化活動の優先事項, 計画, 運営, 財政及び戦略に関する検討	議長	Bruce Gracie（カナダ）	再任
SG 2	サービス提供の運用側面及び電気通信管理	議長	Phil Rushton（英国）	新任
SG 3	料金及び会計原則と国際電気通信・ICTの経済と政策課題	議長	津川 清一（KDDI）	再任
SG 5	環境, 気候変動と循環経済	議長 副議長	Maria Victoria Sukenik（アルゼンチン） 高谷 和宏（NTT）	新任
SG 9	映像・音声伝送及び統合型広帯域ケーブル網	議長	宮地 悟史（KDDI）	新任
SG 11	信号要求, プロトコル, 試験仕様及び偽造端末対策	議長	Andrey Kucheryavy（ロシア）	新任
SG 12	QoEとQoS	議長	Kwame Baah-Acheamfour（ガーナ）	再任
SG 13	IMT-2020, クラウドコンピューティングと信頼性の高いNW基盤設備を中心とした将来網	議長 副議長	Leo Lehmann（スイス） 後藤 良則（NTT）	再任
SG 15	伝送, アクセス及びホーム網のためのネットワーク技術と基盤設備	議長 副議長	Steve Throwbridge（米国） 荒木 則幸（NTT）	再任
SG 16	マルチメディア符号化, システム及びアプリケーション	議長 副議長	Zhong Luo（中国） 山本 秀樹（沖電気）	新任
SG 17	セキュリティ	議長 副議長	Heung Youl Youm（韓国） 三宅 優（KDDI）	新任
SG 20	IoTとスマートシティ	議長 副議長	Nasser Al Marzouqi（UAE） 端谷 隆文（富士通）	新任

標準化活動ノウハウ：準備編

＜会合参加準備＞

- 標準化活動に関する明確な目的意識（寄書・標準制定への貢献）
- 国際相互接続性を保証する妥当なスペックの採用
- 具体的な実装方法（implementation matter）は規定しない
- 真の交渉相手の把握
- 提案（文書）を積極的に提示し寄与
- 関連の水平規格を熟知
- ハイレベルな標準化戦略立案のためのIEC-MSB会議やITU-T CTO会議の活用（会社幹部との連携）
- 海外情報の収集と活用（会社幹部への有益情報提供）

＜標準化組織のルール＞

- 会議議事規則（Robert's rules）の理解と戦略的活用
- 標準化組織毎の作業プロトコルの理解 **【参考付録参照】**
- 組織と役職者とその権限把握（ToRの明確化）
- 他標準化組織との良好関係維持（重複は可、不整合を回避）
- Win-Winの合意原則（独り勝ちはあり得ない、妥協の意義）
- ITUにおける地域標準化（日本にとってはAPT）合意の活用

標準化活動ノウハウ：交渉術

＜人間関係の構築＞

- 標準化は仲間作り
- 議場外活動（コーヒーズブレイク、アフター5の活用）
- Give and Take精神（役職・雑務・ボランティアの引受け）
- アシスタントや秘書との親交
- リーダーシップ、役職指名のチャンスは背伸びしてでも掴む
- SDO以外の読者を大切にする

＜コミュニケーション＞

- 語学力の向上（上手さより継続的向上努力、英語力より会話力）
- 英語より中身が大事、でも論理的でなければ理解は得られない

＜交渉の心構え＞

- 相手の立場を傾聴し解決策を探る（相手にとってのWinとは？）
- 標準化は時間のかかる地道なプロセス、継続が必要
- 途中で諦めない、とことん議論

＜会社経営層への期待＞

- 標準化活動者への適切な評価
- ビジネス戦略としての標準化活用戦略への理解

参考付録：TTC標準化テキスト

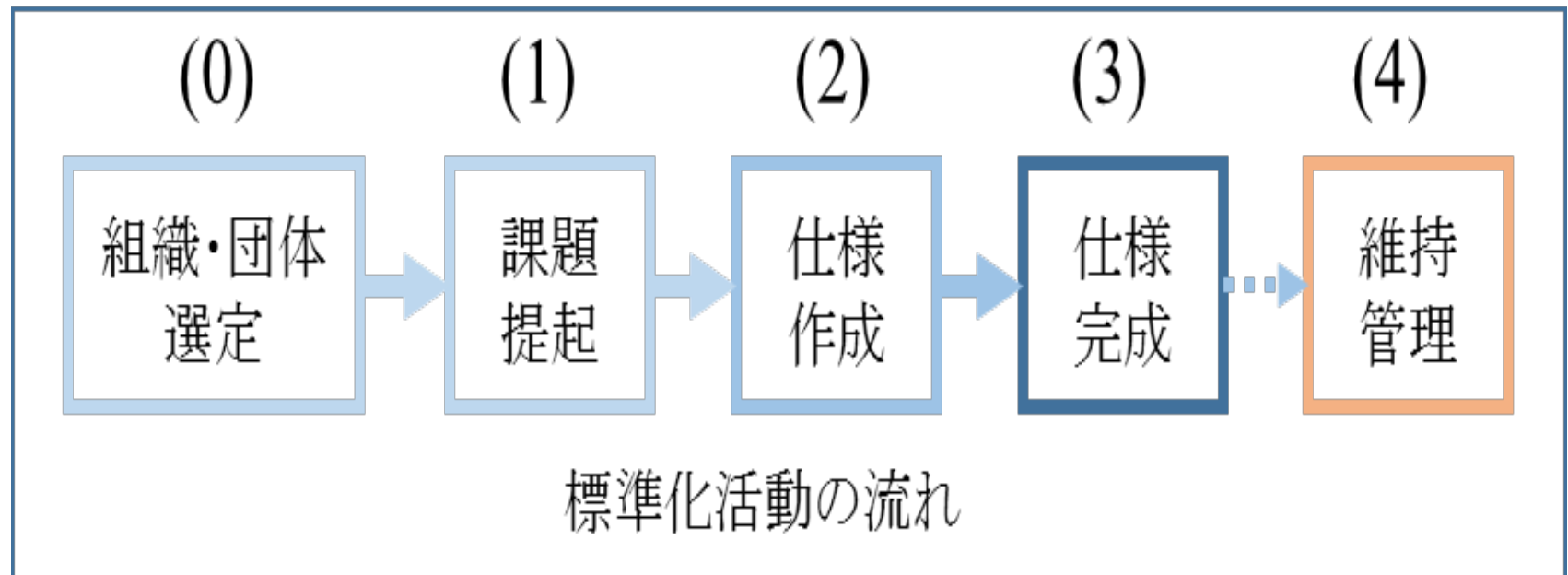
付 1 国際会議参加のための手続きと規則

付 2 国際会議のための英語表現

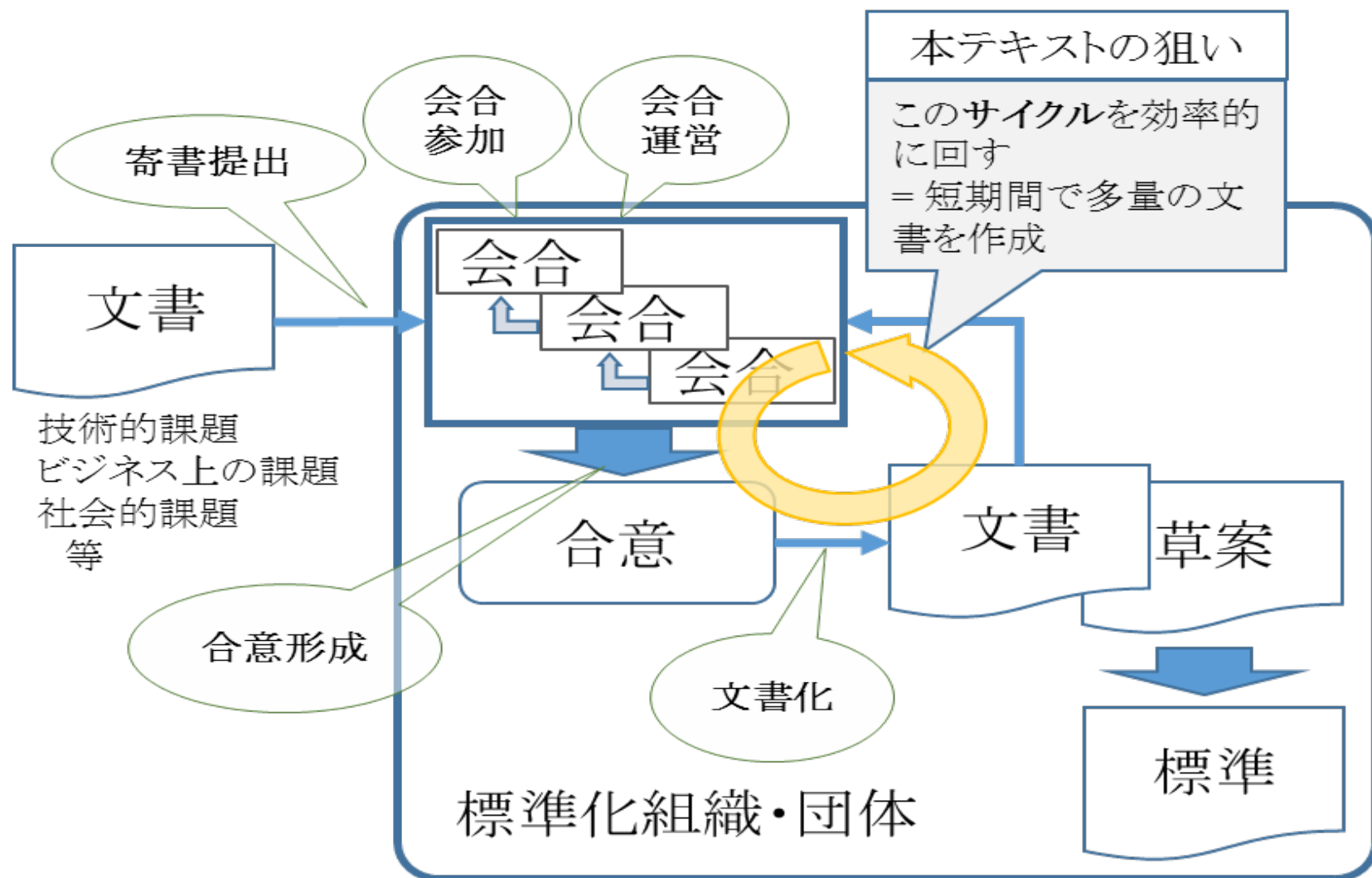
付1 国際会議参加のための手続きと規則

参加者にとっての標準化活動とは？

ビジネス展開上の必要性から製品・サービスに関連した標準を作成するためプロセスは、その目的に則した標準化組織・団体を選定するところから始まる。



標準化組織における標準化の流れ



情報通信分野における標準化活動のための — 標準化教育テキスト 平成27年度改版 —

「標準化」ってなに？

標準化教育ページ



ICT(Information Communication Technology)分野の標準化に関していろいろ知りたい方へ、標準化教育テキストや標準化に関するコラムや映像コンテンツを紹介します。

標準化テキスト

標準化教育テキスト 〈平成27年度 改版〉



付2 国際会議のための英語表現

標準化教育テキスト（実践編）第三部

<http://www.ttc.or.jp/jp/stdtext/english/>

- | | |
|------|----------|
| 2.1. | 提案する |
| 2.2. | 賛成する |
| 2.3. | 反対する |
| 2.4. | 妥協する |
| 2.5. | 文書を提出する等 |
| 2.6. | 質問する |
| 2.7. | 発言権 |
| 2.8. | その他 |

3. 標準化会議議長の会議進行シナリオ

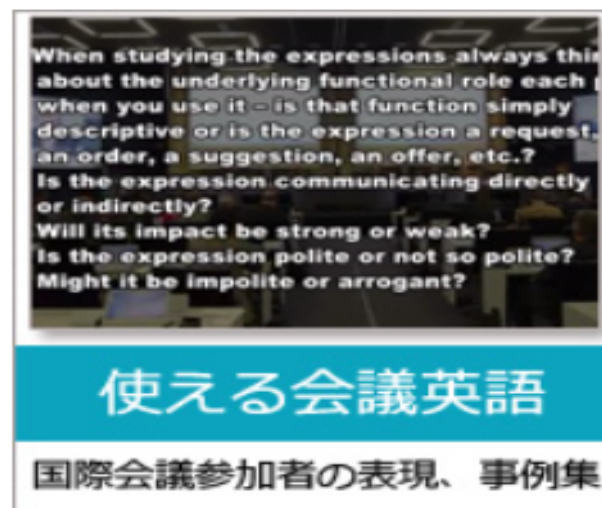
情報通信分野における標準化活動のための － 標準化教育テキスト 平成26年度版

標準化テキスト

標準化教育テキスト (実践編) 〈平成26年度〉



標準化の現場で活動する方のために、
第I部: 会合参加と寄書作成
第II部: 会合での議事運営及び議論参加
ノウハウ
第III部: 使える会議英語～国際会議参
加者の表現・事例集
について解説しています。



標準化教育テキスト (実践編) 第III部より、
国際会議に役立つ表現集を、動画
を交えて音声化しました。

http://www.ttc.or.jp/study_std/

ありがとうございました！

一般社団法人情報通信技術委員（TTC）

TTCホームページ：

<http://www.ttc.or.jp/>

TTCへのお問合せ：

yoichi.maeda@s.ttc.or.jp

otoiawase@ttc.or.jp